

PlatBox Simulator / Component Builder

インストールガイド

[Step1] 動作環境の確認

PlatBox Simulator の動作に必要な PC の環境は以下の通りです。

必須環境

OS: Windows 98/98SE/Me/2000/XP (日本語版)

CPU: 300 MHz 以上

メインメモリ: 128 MB 以上

推奨環境

OS: Windows Me/2000/XP (日本語版)

CPU: 700 MHz 以上

メインメモリ: 256 MB 以上

[Step2] PlatBox Simulator のインストール

2-1◇ファイルの準備

まずはファイルのダウンロードを行います。

- ・ ダウンロードするファイルは、[PLATBOXALL-*****-Win]という名前の ZIP 形式の圧縮ファイルです。
- ・ 「PlatBox Simulator インストーラー」と書かれている部分をクリックします。
- ・ ダウンロードウィンドウが開き「ファイルを開くか、ファイルをコンピューターに保存するか選択してください。」と表示されるので、「保存(S)」を選択します。
- ・ ダウンロード先を指定するウィンドウが表示されるので、デスクトップなど分かりやすいところに保存します。

保存が完了したら、その圧縮ファイルを解凍して下さい。

※*****の部分は年月日(20050328 など)が入っています。

※圧縮ファイルの解凍には、解凍ソフトを使用してください。

例えば、「解凍レンジ」(<http://www.vector.co.jp/vpack/browse/pickup/pw5/pw005284.html>)、

「Lhasa」(<http://www.vector.co.jp/vpack/browse/pickup/pw0/pw000825.html>)、

「Lhaplus」(<http://www.vector.co.jp/vpack/browse/pickup/pw4/pw004641.html>)など。

解凍すると[PLATBOXALL-*****-Win]というフォルダが生成されます。

フォルダの中には次の図に示す 3 つのファイルが入っています。

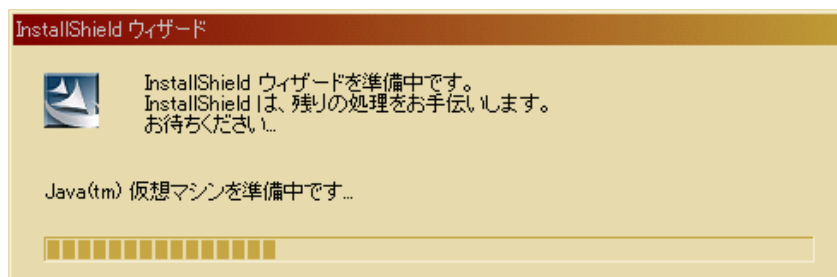


2-2◇Java 動作環境のインストール

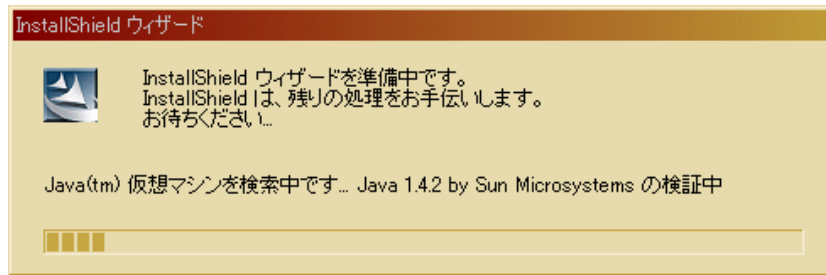
生成されたフォルダから[setupwin32]という EXE 形式のファイルを実行します。

InstallShield ウィザードが起動されます。

InstallShield は、まず、PC に Java が動作する環境があるかどうかを調べます。



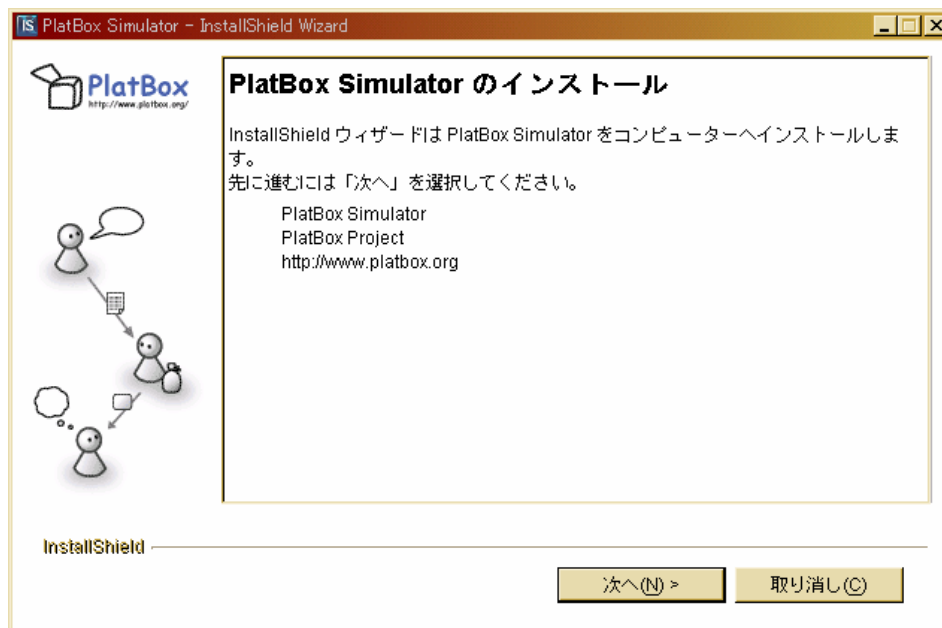
Java が動作する環境があれば検証を行い、次に進みます。



Java が動作する環境がない場合、Java SDK のインストールが行われるので画面の指示に従ってください。
PlatBox Simulator で動作するモデルは Java で実装されています。そのため、PC に Java が動作する環境を設定する必要があります。

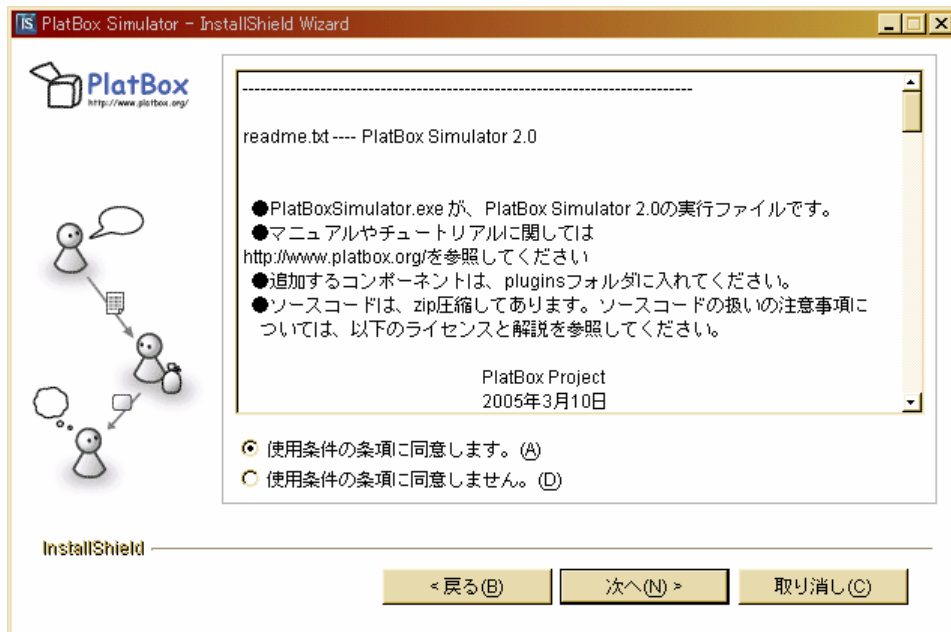
2-3◇PlatBox Simulator のインストール

Java が動作する環境が整ったら、次の画面が表示されるので、内容を確認して「次へ」をクリックします。



次に、使用条件を示した画面が表示されます。使用条件をよく読み、同意する場合は「使用条件の条項に同意します。」を選択して「次へ」をクリックします。

※同意しない場合、PlatBox Simulator はインストールできません。

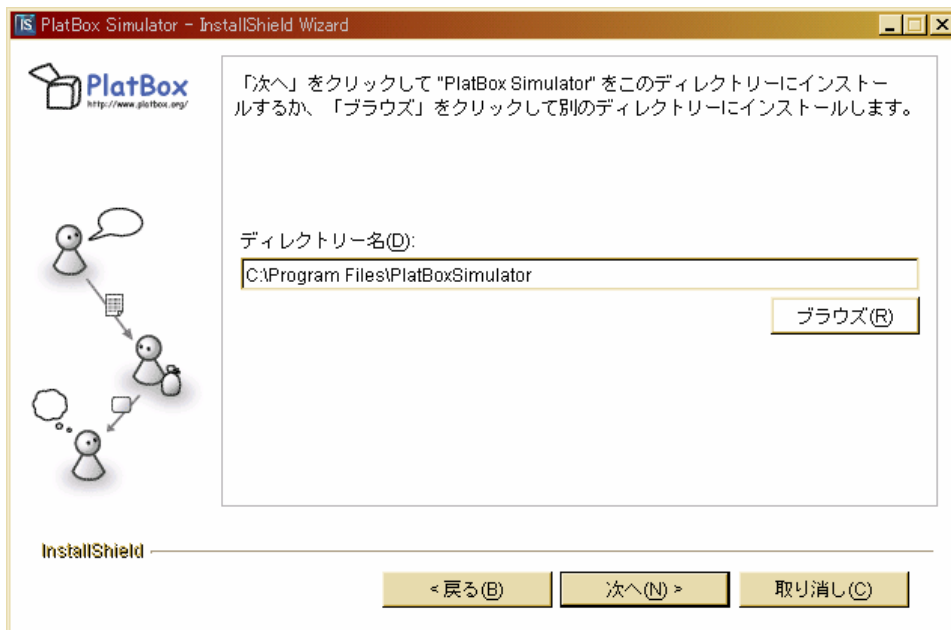


次に、PlatBox Simulator のインストール場所を設定します。

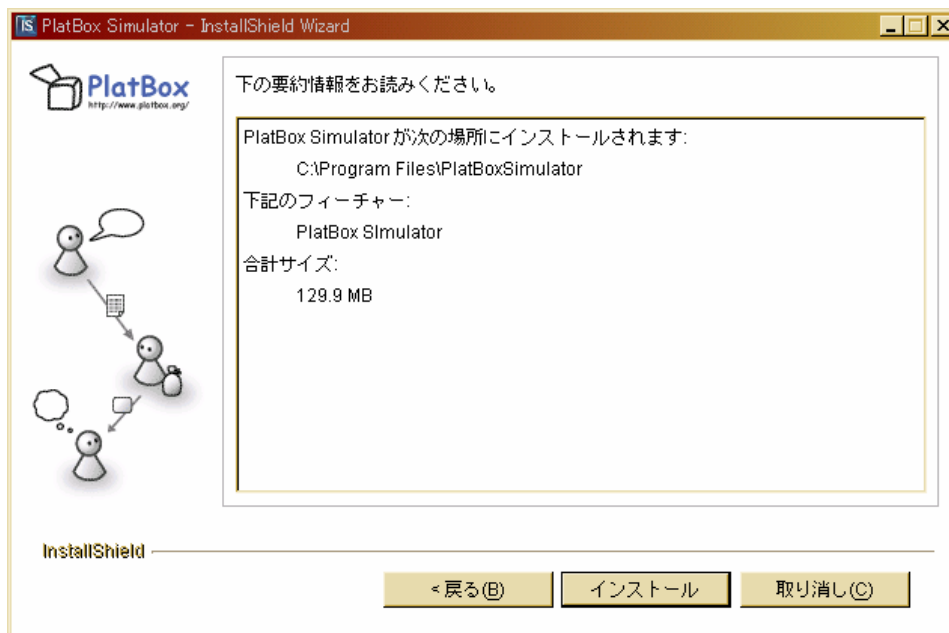
最初は[C:\Program Files\PlatBoxSimulator]に設定されています。

特別な理由がない限りインストールディレクトリは変更しないでください。

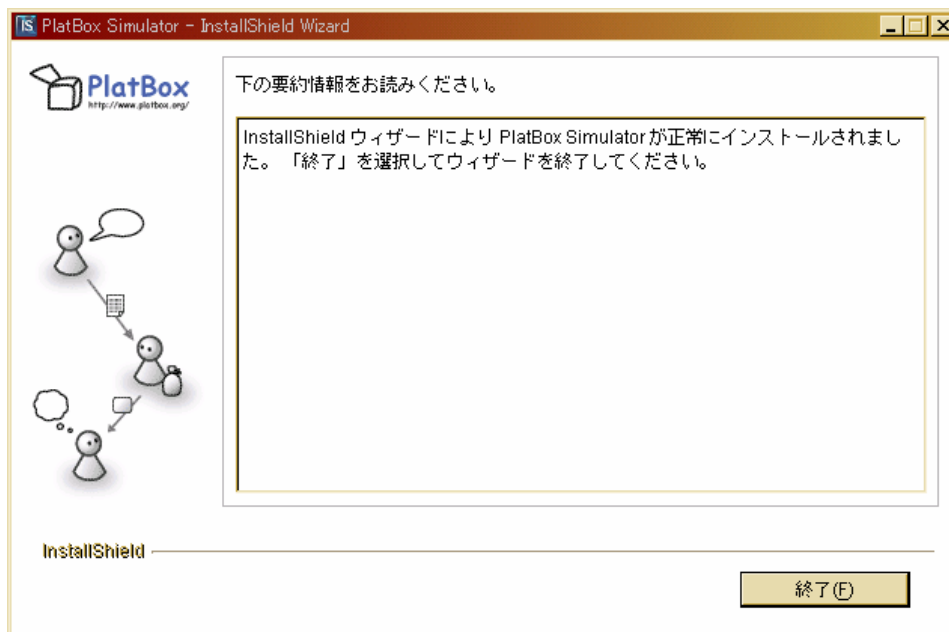
インストール場所を設定できたら、「次へ」を選択してください。



インストールの要約情報が表示されます。
内容を確認したら[インストール]をクリックします。



インストールが終了すると、次の画面が表示されます。
「終了」をクリックして InstallShield ウィザードを終了します。



以上で、PlatBox Simulator のインストールは終わりです。
デスクトップに PlatBox Simulator のショートカット・アイコンが生成されます。

[Step3] Component Builder のインストール

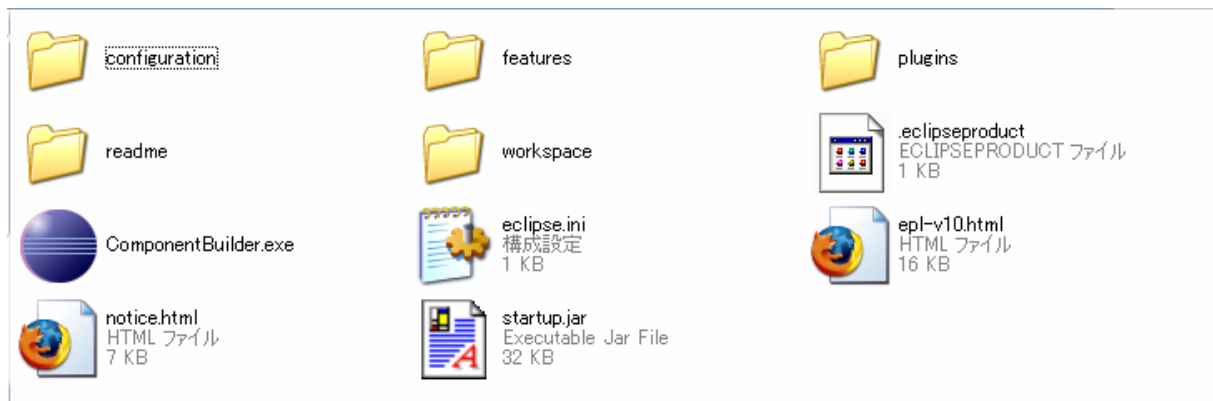
3-1◇ファイルの準備

Component Builder のインストールには、PlatBox Simulator のインストールが、[Step2]までの手順で既に行われている必要があります。もし PlatBox Simulator のインストールが済んでいない場合は[Step2]へ戻り、インストールを行ってください。

古いバージョンの Component Builder がインストールされている場合、それらをアンインストールしなくても構いません。一つの PC に複数インストールし、実行することが可能です。

[ComponentBuilder3.1.x]という名前の ZIP 形式の圧縮ファイルを PlatBox Simulator のインストールと同様にダウンロードし、圧縮ファイルを解凍します。※ “x”にはバージョン番号が入ります

解凍すると [ComponentBuilder]というフォルダが生成され、その中には次の図に示すファイル、フォルダがあります。



3-2◇Component Builder の設定

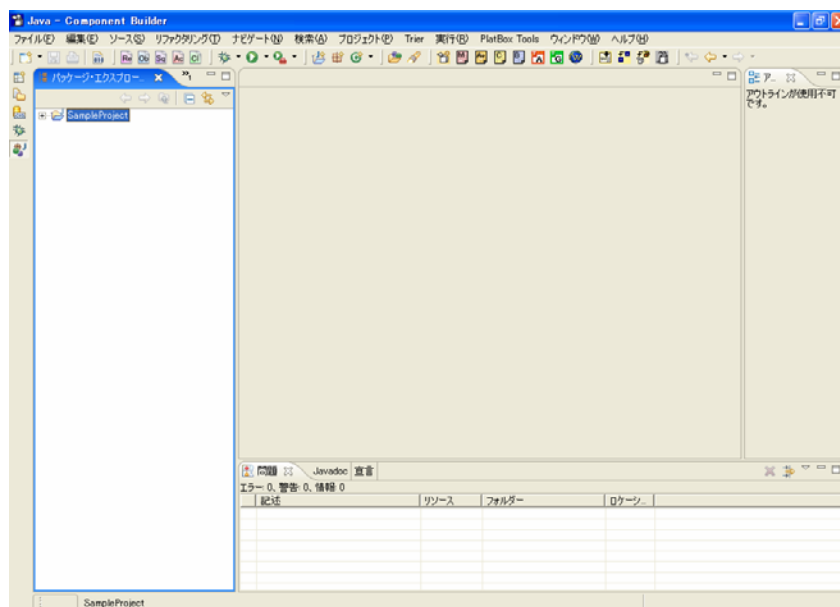
解凍してできた[ComponentBuilder]というフォルダを切り取って、C:¥Program Files¥ に移動してください。

フォルダの中にある[ComponentBuilder]という EXE 形式のファイルを実行します。上記の手順の通りにファイルを移動していれば、実行しようとしている ComponentBuilder.exe は「C:¥Program Files¥ComponentBuilder」に置かれているはずですが、もしそうでない場合は、[ComponentBuilder]フォルダを Program Files に移動しなおしてください。

実行するとまず以下のような起動画面が起動します。



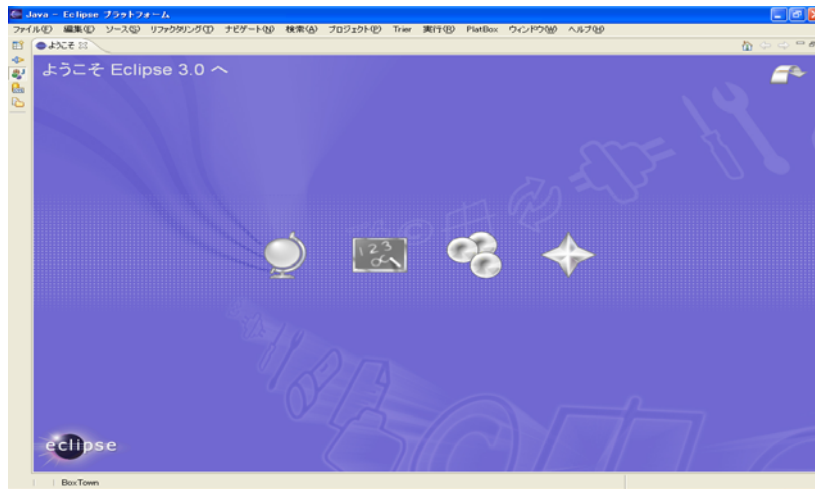
起動が完了すると以下のような画面になることを確認してください。



今後、[ComponentBuilder.exe]から Component Builder を起動できますが、ファイルを右クリックしてプルダウンメニューから[送る]—[デスクトップ(ショートカットを作成)]を選択してデスクトップにショートカットを作成しておくとう便利です。

以上で Component Builder のインストールは完了です。

*** ComponentBuilder 起動時に「ようこそ」画面が表示されてしまった場合***



フォルダの配置が間違っています。

起動した Component Builder を一旦閉じ、解凍してできた[ComponentBuilder]というフォルダごと C:\¥Program Files¥ に移動してください。その際、移動先に同名のフォルダが自動的に生成されていることがありますが、気にせずに上書きしてください。

・フォルダの移動をせずに workspace の場所を指定したい場合
ComponentBuilder のメニューバーにある「ファイル」→「ワークスペースの切り替え」で同様にワークスペースの設定を行います。[ComponentBuilder]フォルダを置いた場所の中にある[workspace]フォルダを選択し、「OK」を押します。